

研究の仮説	自分の体験について表現させ、無意識の気づきを自覚させることで、自然の不思議さに気づき、気づきの質を高めることができるであろう。
-------	---

1 単元名 ふゆとなかよし（はるをさがそう）

2 目標

- 冬の自然や暮らしに関心をもって楽しく過ごそうとしている。（関心・意欲・態度）
- 身近な自然や暮らしの変化を考え、それに合わせて生活を工夫している。（思考・表現）
- 秋と比べて身近な自然や暮らしの変化に気付いたり、冬の遊びや暮らしの楽しさに気付いたりすることができる。（気づき）

3 指導にあたって

(1) 児童の実態（男子9名、女子7名、計16名）

本学級の児童は、1学期にアサガオの世話や観察を通して、植物の生長のすばらしさや育てる喜びを味わってきた。また、「秋となかよし」では、くり返し自然とふれあい、季節の変化を感じ取った。落ち葉や木の実を拾ったり秋の生き物を飼ったりし意欲的に自然に親しんできた。その中で木の実を使っておもちゃをつくったり、落ち葉で絵をつくるなど、自分なりに発想を生かして活動することができた。

また、桜の木について考え、桜の木の葉は落ちると死んでしまうが、木の幹は死んでいないという学習を行い、桜の木に関心をもっている。しかし、こだわりをもって疑問を追究したり、深く調べたりすることはまだできていない。

(2) 教材観

本単元は、学習指導要領の内容（5）「身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりして、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに関心し、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする。」（6）「身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりなどして、遊びを工夫し、自然の不思議さに気づき、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。」を受けて設定した。

本単元は、正月遊びという伝統的な文化に触れたり、氷や雪、北風や日なたと日陰といった冬の自然と関わったり、冬の中に隠れている小さな春に出会ったりと、冬の自然や暮らしのよさを体験的に感じさせることができる単元である。特に、「はるをさがそう」の小単元では、冬の自然に十分にふれ合う中で、厳しい寒さの中でも植物には春が訪れ始めていることを感じ取らせ、さらに、植物での発見をもとに、まちの様子にも視点を広げていき、まちの変化の様子からも冬の中にある小さな春の訪れに気付くことをねらいとする。

(3) 指導観

冬は、年末年始の行事や、氷や雪等の現象が現れ、自然、家族、季節、行事など自分とのかかわりを考えさせるのに有効な季節である。これらの多くの要素を効果的に位置付け、冬から春への季節の移り変わりを具体的に感じとらせるとともに、人とのかかわりを通じて、自己の成長に気付かせたい。

また、児童が対象とのかかわりを深め、そこで生まれた気づきを自覚し、日常にもつなげて考えられるようにしたい。児童が身近に感じている桜の木を1年間継続して観察していくことで、桜の木の移り変わりについて理解させたい。2学期には、桜の葉の落葉について学習し、そこで紅葉した葉は落ちたら死んでしまうが、桜の木の命はずっと続いているとの結論に達した。しかしそれは予想でしかない。継続的に観察することで、桜の木の変化を実感できるようにしたい。

さらに、伝え合う力の育成を重視していきたい。自分の意志をどう伝え、相手の考えをどのように自分なりにとり入れていくかを考えることが大切である。自分の気づきを友達と共有することで、気づきの質を高めるようにする。そのために、考える視点を明確にして話し合い活動を行う。

4 本時の目標

(1) 目標

- 桜の木がどのようなになっているのか自分なりの根拠をもって予想し、寒くても春に向けて準備をしていることに気付く。(気付き)

(2) 準備・資料

桜の写真, 桜の冬芽, ワークシート, 実物投影機

(3) 展開

学習内容・活動 (学習形態・時間)	○指導上の留意点 ◎評価
<p>1 本時の課題を知る。(全体・5分)</p> <p>問 秋や冬の初めとくらべて桜の木はどうなったかな。</p>	<p>○ 前時の観察の様子を振り返り、本時の問題にスムーズに入れるようにする。</p>
<p>2 桜の木がどうなったか話し合う。(全体・10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葉っぱが落ちて何にもなくなっちゃった。 ・枝だけになって寒そう。 ・桜の木は死んじゃったみたい。 ・木の枝に小さな芽みたいなものがあったよ。 ・春には桜が咲くのだから、やっぱり新しい芽なんじゃないかな。 ・新しい命ができているんだね。 ・中に何が入っているのかな？ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 秋に「葉は落ちて死んでしまうが、木の幹は命がまだ生きている。」と学習したことを思い出させる。 ○ 桜の木の枝や写真を用意して、児童が考えをもちやすいようにする。 ○ 木が死んでしまうと考えた児童には、枝の様子をよく観察させたり、今後木の幹はどうなっていくのか考えさせたりする。 ○ 桜の木の1年の移り変わりに目を向けさせ、命が続いていることに気付かせたい。 ○ 友達の考えを参考にしやすいように、児童の発表内容を板書し、自分の考えと比較できるようにする。
<p>3 冬芽の中について考える。(グループ・5分, 全体10分)</p> <p>(1) 予想してワークシートに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アサガオの種には小さな葉っぱが入っていたよ。 ・桜は花が咲くよ。だからつぼみなのかな。 ・これは芽なのかな？つぼみなのかな？ ・中を見てみたいな。 <p>(2) 冬芽の中を観察する。(グループ・13分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんの葉っぱみたいなものがあるよ。 ・緑色のものがあるから葉っぱかな。 ・芽は固いけど中はやわらかいね。 ・こんなに寒いのにもう準備しているんだね。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ワークシートに意見を記入させることで自分なりの考えを確実にもてるようにする。 ○ 友達の予想を聞くことで、冬芽の中に対する思いを膨らませられるようにする。 ○ 冬芽の中の様子がよく分かるように、実物投影機を使用して観察する。 ○ 結果をワークシートに記入して自分の予想と比較することで、新たな発見や気付きを認識させるようにする。
<p>4 本時のまとめをする。(全体・5分)</p>	<p>◎ 寒い冬の間、桜は何もしていないように見えても春に向けての準備をしていることに気付くことができる。(発言・ワークシート)</p>
<p>冬寒い間も、サクラの木は春に花を咲かせる準備をしている。他の植物はどうかな。</p> <p>5 次時の学習の確認をする。(全体・2分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他の植物にも目を向け、次時への興味をもたせる。

5 板書計画

ふゆとなかよし	
<p>④ あきやふゆのはじめとくらべて さくらの木はどうなったかな。</p> <p><あきのころ> <ふゆのはじめ> <いま></p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろないろのはがあった。 ・木のははかれました。 ・木のははかれてしまったけど、木のみきはいきていた 	<p>写真 《ふくらみのなかは》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あさがおといっしょではっぱがある。 ・はるになったら、はながさくからはなびらがある。 ・りょうほうはいっているかもしれない。 <p>⑤ さむいふゆでも さくらの木は はるにむけてじゅんぴをしている</p>

研究の仮説	自然からまち、まちから自分へと徐々に視点を変えながら、冬という季節を十分に感じさせていけば、四季の変化を自分に関係づけて感じ取ることができるだろう。
-------	--

1 単元名 ふゆとなかよし (はるをさがそう)

2 目標

- 冬の実然や暮らしに関心をもって楽しく過ごそうとしている。 (関心・意欲・態度)
- 身近な自然や暮らしの変化を考え、それに合わせて生活を工夫している。 (思考・表現)
- 秋と比べて身近な自然や暮らしの変化に気付いたり、冬の遊びや暮らしの楽しさに気付いたりすることができる。 (気付き)

3 指導にあたって

(1) 児童の実態 (男子10名、女子8名、計18名)

本学級の児童は、生活科を楽しみにしている児童が多く、特に、季節の変わり目に行っている「次の季節探し」には非常に興味をもって取り組んでいる。たとえば、秋探しをしたときには、カマキリやバッタ、落ち葉、どんぐりなどをたくさんとってきて、季節に親しむことができた。また、秋になって新たに出現したものだけでなく、「蟬の音が聞こえなくなった。」というように、前の季節の象徴が姿を消すことが次の季節の始まりと考えることができる児童も何人かおり、季節の移り変わりを自然の中からとらえることができるようになってきている。一方で、自分の生活や行事に目を向けて、季節による生活の変化から四季を感じ取っている児童は少ないように思う。

〈生活科に関するアンケート〉 (平成24年11月5日18名実施)

1. 生活科は好きですか。
(はい…17名、ふつう…1名、いいえ…0名)
2. どの季節が好きですか。
(春…9名、夏…4名、秋…2名、冬…3名)
3. 季節探しは好きですか。
(好き…15名、ふつう…3名、きらい…1名)
4. 季節を感じるものは何ですか。(自由記述)
(生き物…60%、植物…30%、行事…5%、その他…5%)

(2) 教材観

本単元は、学習指導要領の内容(5)「身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりと、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに関心、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする。」(6)「身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりなどして、遊びを工夫し、自然の不思議さに関心、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。」を受けて設定した。

本単元は、正月遊びという伝統的な文化に触れたり、氷や雪、北風や日なたと日陰といった冬の実然と関わったり、冬の中に隠れている小さな春に出会ったりと、冬の実然や暮らしの良さを体験的に感じさせることができる単元である。特に、「はるをさがそう」の小単元では、冬の実然に十分にふれ合う中で、冬の実然しい寒さの中でも植物には春が訪れ始めていることを感じ取らせ、さらに、植物での発見をもとに、まちの様子にも視点を変えていき、まちの変化の様子からも冬の中にある小さな春の訪れに関心することをねらいとする。

(3) 指導観

本教材では、前時までの学習で植物の新芽から感じ取った春の訪れを、自然からまち、まちから自分へと徐々に視点を変えていき、四季の変化を自分と関係付けてとらえられるようにしたい。そのために、まちの中にある春を見つけるための探検に行き、探検で見つけてきた春についての話し合い活動を設定する。具体例を挙げて話し合いながら、春の訪れについて自分の意見をもったり、友達の意見を聞いて自分では気付かなかった春の訪れに関心したりできるようにしたい。そして、冬の実然盛りであるこの時期でも、まちの中では確かに春が始まっているということに関心させていきたい。さらに、話し合いを通して気付いたまちの中の春を家族に紹介しようと投げかけることで、まちの中の春について子どもたちが自分の気付きを再確認できるようにしたい。

暮らしの中の春は、植物に訪れている春の準備と違って、子どもたちにとって気付きにくいものだと考えられる。そこで、教師が写真で撮ってきた写真を使ったり、子どもの小さな気付きを拾い上げたりして、はっきりと冬から春へ切り替わっていないものでも、それは春に向けての準備だと捉えられるようにする。そして、四季の変化とともにまちの様子や自分たちの生活が徐々に変化しているということ、実感を伴わせながら気付きができるようにしたい。

4 本時の指導

(1) 目標

- 自分たちのまちの中で見つけた春の訪れについて、考えたことや感じたことを話し合い、四季の変化にもなつて自分たちのまちの様子も変わっていくことに気付くことができる。(気付き)

(2) 準備・資料

写真(花屋、洋品店、薬局など)、ワークシート

(3) 展開

学習内容・活動(学習形態・時間)	○指導上の留意点 ◎評価
<p>1 本時の学習問題をつかむ。(全体・3分)</p> <p>問 冬のはじめと比べて、まちの様子はどうなったかな。</p> <p>2 まちの中にある春を話し合う。(全体・20分)</p> <p>(1) 小グループで意見を出し合う。</p> <p>(2) 全体で意見を交流する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>洋品店</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春の色の服。 ・明るい色だった。 ・新しい1年生の制服があったね。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>豆屋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・節分の豆があった。 ・鬼のお面があった。 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>花屋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チューリップ。 ・春の色の花かな。 ・ヒヤシンス。 ・桜も見つけた。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>スーパー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春の看板があった。 ・節分の準備だね。 ・いちごがあった。 ・京成の道が、もみじから梅になった。 </div> </div> <p>3 まちの中にある春を紹介するカードを書く。(全体・15分)</p> <p>(1) ワークシートに記入する。</p> <p>(2) 全体で共有する。</p> <p>4 本時のまとめをする。(全体・5分)</p> <p>冬と春では、まちも少しずつ変わるんだね。まだ冬だけど、もう春の準備をしているんだね。</p> <p>5 次時の学習の確認をする。(全体・2分)</p> <p>自分の生活も、春になると何か変わるのかな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 探検の時に撮った写真を使いながら、自分たちが探検して見つけてきた事実をもとに、興味をもって課題にせまれるようにする。 ○ 桜は寒い冬でも春の準備をしていることを振り返り、植物からまちへと視点を変え、四季の変化と自分の生活を関係づけて考えられるようにする。 ○ 自分の意見に自信をもって発表できるように、まずは小グループによる話し合いを行う。 ○ 新しく出たものだけでなく、秋のころに比べて数が減ったり増えたりしたことも、春に向けての準備だということを伝え、小さな変化に着目できるようにする。 ○ クリスマスのときもお正月のときも、お店や町の様子が早くから変わっていることを思い出させ、町も植物と同じように、次の季節になる前に準備を始めていることに気付けるようにする。 ○ 家族に春を紹介するカードを作ることで、冬の中にある春の訪れについて話し合いで考えてきたことを、整理できるようにする。 ○ 教師が撮ってきた違う場所の花屋の写真を見せることで、まちの中の春について、自分たちの気づきの再確認ができるようにする。 ◎ 自分たちのまちの中にある春の訪れについて話し合い、四季の変化とともに自分のまちも変化していることに気付いている。(発言、ワークシート) ○ 生活の様子が変わってきたことに気付かなかった児童には、写真を見せながら、新しい季節の準備をしていることに気付けるようにする。

5 板書計画

<p>1/25 ふゆとなかよし</p> <p>問 ふゆのはじめとくらべて、まちのようすはどうなったかな。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">花屋の写真</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">スーパーの写真</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">道にある旗の写真</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">薬局の写真</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">豆屋の写真</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">ちらしの写真</div> </div> <p>サクラ・・・ふゆにはるのじゅんぴ</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>ようふくやさん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セーターがへった。 ・ひらひらのふく ・はるのいろのふく。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>スーパー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まめがうっている。 せつぶん ・いちごがあった。 ・けいせいのまえのみちのかざり。 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; width: 60%;"> <p>はなやさん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チューリップだ。 ・はるのいろのはな。 </div> <p>クリスマスやおしょうがつ・・・じゅんぴが はやい</p> <p>ま ふゆとはるでは、まちもすこしずつ かわる。まだふゆだけど、はるのじゅんぴをしている。</p>
--	---

単元構想図（34時間扱い）○主な学習活動 ・児童の反応

次	活動の流れ	評価計画
第1次	<p>かぞくでいっしょにお正月（10時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な自然の中から冬を探す。 <ul style="list-style-type: none"> ・冬がやってきたね。秋と比べてどう変わったかな。 ○ 町や家の冬を探す。 <ul style="list-style-type: none"> ・冬の準備、いろいろあるね。 ○ 家族の一員としてしたいこと、できることを考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・新しい年が始まるよ。大掃除の手伝いをしよう。 ○ 昔の遊びに挑戦する。 <ul style="list-style-type: none"> ・お正月の遊びに挑戦しよう。 	
第2次	<p>みんなかぜの子（9時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 冬はどんな遊びができるか考えて遊ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・風や氷で遊んだり、冬の日差しで光と影を使って遊んだりしよう。 	
第3次	<p>はるをさがそう（8時間）</p> <p>〈第1時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 校庭の木や草、虫はどうしているのか考え、発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・虫はどこにいったのかな。・花壇に植えたチューリップはどうなっているかな。 ・サザンカの花は咲いていたよ。・サクラの木は何にもなくなっちゃったね。 <p>① 校庭の虫や木を観察にいこう。</p> <p>〈第2時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 校庭で見つけてきたことを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・植物や生きものがかわっているね。 <p>② 秋や冬の初めと比べて桜の木はどうなったかな。</p> <p>〈第3時〉（1組本時）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 桜の木はどうなったか考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・秋の時には葉は死んじゃったけど幹は生きてた。 ・春になるとまたサクラの花はさくよ。 ・枝にぼつぼつしたものがあるよ。 ・秋にくらべて大きくなっているね。 ・寒いけど桜はもう春の準備をしているんだね。 <p>③ 他の植物も春の準備をしているのかな。</p> <p>〈第4時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 他の植物の観察をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・寒いけれど、植物は春の準備をしているんだね。 <p>④ まちの中でも春を迎える準備をしているかな。探検に行こう。</p> <p>〈第5・6時〉（まち探検）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ まちの中で春の準備をしているものがあるか探しに行く。 <ul style="list-style-type: none"> ・まちの中でも、春の準備を始めているのかな。 ・お花屋さんにはもう春の花が売っていたよ。 <p>⑤ 冬の初めと比べて、まちの様子はどうなったかな。</p> <p>〈第7時〉（2組本時）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ まちの中で見つけた春を話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・デパートでは春色の洋服が売ってるよ。・新1年生の制服が売ってたよ。 ・節分の豆が売ってたよ。・花屋ではもうチューリップや桜の花が売っているよ。 ・冬と春ではまちも少しずつ変わるんだね。もう春の準備をしてるんだね。 <p>⑥ 自分の生活も、春になると何か変わるのかな。</p> <p>〈第8時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の生活や行事にも春を迎える準備をしているものがあるか考える。 <p>⑦ まだ寒いけど、植物やまち、自分の生活の中で少しずつ春の準備を始めている。</p>	<p>◇ 身近な春を進んで見つけようとしている。（関・意・態）</p> <p>◇ 身近な自然の中で、春の訪れを見つけ、友達と考えを話し合えることができる。（思考・表現）</p> <p>◇ 寒い冬の中でも冬の訪れに気づき、四季の変化と自分たちの生活との関連に気付くことができる。（気づき）</p>
第4次	<p>もうすぐ2年生（7時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1年間の自分の成長をふり返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・大きくなったね。いろいろなことができるようになったよ。 ○ 6年生やボランティアさん、家の人や教室など、お世話になった人やものに感謝の気持ちをもつ。 <ul style="list-style-type: none"> ・6年生にお礼状を書こう。 ○ 新しい1年生を迎える準備をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・新しい1年生に、何をしてあげようかな。 	